

平成27年度 岐阜工業高等専門学校シラバス									
教科目名	電気磁気学 I	担当教員	熊崎裕教						
学年学科	3年 電気情報工学科	通年	必修	2単位					
学習・教育目標	((D-4(1)) 100%								
<b>授業の目標と期待される効果 :</b> 電気と磁気及びその相互作用に伴う物理現象や法則を理解し、関連する物理的、工学的諸問題についての洞察力、計算能力を習得する。具体的な学習・教育目標を以下に示す。		<b>成績評価の方法 :</b> 中間試験 200点 (100点×2回) +期末試験 200点 (100点×2回) +小テストおよびレポート 140点とし、総得点率 (%) によって成績評価を行なう							
①クーロンの法則を理解し、使いこなせる。 ②電位の概念を理解し、電位計算ができる。 ③電界の概念を理解し、電界計算ができる。 ④ガウスの法則、電気影像法を理解し、それらに関する計算ができる ⑤帶電導体に関連した現象を理解し、それらに関する計算ができる ⑥誘電体のエネルギーについて理解し、それらに関する計算ができる		<b>達成度評価の基準 :</b> 技術士の一次試験問題、電験、教科書等の演習問題と同等レベルの問題を試験で出題し、下記の項目について6割以上の正答レベルまで達していること。成績評価への重みは均等である。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①電荷に働く力などクーロンの法則に関連した問題を正確に解くことができる</li> <li>②電位計算に関連した問題を正確に解くことができる</li> <li>③電界計算に関連した問題を正確に解くことができる</li> <li>④ガウスの法則、電気影像法に関連した問題を正確に解くことができる</li> <li>⑤帶電導体に関連した問題を正確に解くことができる</li> <li>⑥誘電体のエネルギーに関連した問題を正確に解くことができる</li> </ul>							
授業の進め方とアドバイス :多くの問題を解き、教科書レベルの問題は解ける能力を身につけること。									
教科書および参考書 : 電気磁気学 第2版 (安達三郎、大貫繁雄著・森北出版) を教科書として用いる									
<b>授業の概要と予定 : 前期</b>									
第 1 回 : 電気磁気学の概論、ベクトル									
第 2 回 : 電荷、クーロンの法則									
第 3 回 : 合力、静電誘導									
第 4 回 : 電界、電気力線									
第 5 回 : 電界の計算例									
第 6 回 : 電位差と電位									
第 7 回 : 等電位面と電位の傾き									
第 8 回 : 中間試験									
第 9 回 : ガウスの法則 I ガウスの法則の積分形とその物理的意味を説明、基本問題の解説									
第 10 回 : ガウスの法則 II 応用問題の解説									
第 11 回 : 帯電導体の電荷分布と電界 帯電導体の性質を説明、例題の解説									
第 12 回 : 静電界の計算 電気双極子と電気二重層電位と電界分布計算									
第 13 回 : 電気影像法 基本概念の説明									
第 14 回 : 電気影像法の応用 直交二導体板および導体球について									
第 15 回 : 演習問題									
期末試験									
第 16 回 : フォローアップ (期末試験解答解説など)									
第 17 回 : 導体系と静電しゃへい 導体による静電しゃへいの概念を説明									
第 18 回 : 静電容量 平行平板、同心導体球の静電容量計算									
第 19 回 : コンデンサーの接続 直列接続、並列接続の基本的な考え方、計算例									
第 20 回 : コンデンサー内のエネルギー密度 コンデンサー内に蓄えられるエネルギー計算									

授業の概要と予定：後期		A Lのレベル
第21回：電位係数、容量係数、誘導係数	各係数の導出方法	C
第22回：静電界におけるエネルギー	帯電導体のもつエネルギー	C
第23回：静電界における力	エネルギーと帯電導体に働く力	C
第24回：中間試験		
第25回：誘電体と比誘電率	誘電体の概念、種々の物質の比誘電率	C
第26回：誘電体の分極	分極の概念、誘電体中の電界	C
第27回：誘電体中のガウスの法則	電束密度によるガウスの法則の積分形およびその物理的意味	C
第28回：誘電体境界面での境界条件	電束密度および電界の連続性	C
第29回：誘電体内のエネルギーと力	ファラデー管、	C
第30回：電界のエネルギー密度	境界面に働く力	B
第31回：演習問題		C
期末試験		
第32回：フォローアップ（期末試験解答解説など）		

### 評価（ループリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	電荷に働く力などクーロンの法則に関連した問題を正確に(8割以上)解くことができる。	電荷に働く力などクーロンの法則に関連した問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる。	電荷に働く力などクーロンの法則に関連した問題を解くことができない。
②	電位計算に関連した問題を正確に(8割以上)解くことができる。	電位計算に関連した問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる。	電位計算に関連した問題を解くことができない。
③	電界計算に関連した問題を正確に(8割以上)解くことができる。	電界計算に関連した問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる。	電界計算に関連した問題を解くことができない。
④	ガウスの法則、電気影像法に関連した問題を正確に(8割以上)解くことができる。	ガウスの法則、電気影像法に関連した問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる。	ガウスの法則、電気影像法に関連した問題を解くことができない。
⑤	帯電導体に関連した問題を正確に(8割以上)解くことができる。	帯電導体に関連した問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる。	帯電導体に関連した問題を解くことができない。
⑥	誘電体のエネルギーに関連した問題を正確に(8割以上)解くことができる。	誘電体のエネルギーに関連した問題をほぼ正確に(8割以上)解くことができる。	誘電体のエネルギーに関連した問題を解くことができない。